2015 年 EROPA 会議開催

シンガポール事務所

EROPA（Eastern Regional Organization for Public Administration）とは、アジア・太平洋地域の経済及び社会の発展に資するため、各国の行政の質向上を図ることを目的として、1960 年（昭和 35 年）12 月に設立された国際組織です。２年に１度開催される総会の他に執行理事会が毎年行われており、今年は 10 月 17 日（土）から 10 月 21 日（水）にかけて中国の上海市で開催されました。

１ EROPA の組織

EROPA は国家会員、団体会員及び個人会員の３者によって構成されています。フィリピンに事務総局を置き、研修センター（インド）、開発経営センター（韓国）、電子政府センター（中国）及び地方行政センター（日本）の４つの専門センターがあり、「地方行政センター」は自治大学校内に設置されています。センターの所長は自治大学校長が兼ねており、また、自治大学校は国家会員の日本政府代表となっていることから、EROPA の日本における窓口として活動しています。クレアは東京本部が団体会員代表を務めており、EROPA 会議にはシンガポール事務所が代理として出席しています。

開会式の様子

CLAIR

２ EROPA 会議

今年の EROPA 会議では執行理事会、総会、そして全大会と分科会で構成されるセミナーが開催され、セミナーでは「行政の現代化・新興市場における行政の改革及びベストプラクティス」をメインテーマに、参加各国の行政研究者が発表を行いました。

全大会の中で行われた「アジアリーダーシップフォーラム」では、久保信保元消防庁長官が行政課題に取り組まれた御自身の経験を話されました。

「東日本大地震と日本の消防」について講演を行う久保元消防庁長官

分科会では、若手行政研究員による研究成果の発表と質疑応答が行われました。

日本からも、上子秋生氏（立命館アジア太平洋大学）、荒見玲子氏（名古屋大学）、佐々

木一如氏（明治大学）及び太田響子氏（東京大学）が参加しましたが、Q&A セッションでは日本の発表者に寄せられる質問が多く、地方行政が抱える各国共通の課題に関する日本の研究や取組みに多くの参加者が高い関心を持っている様子が窺えました。

参加者の質問に答える
東京大学太田研究員（中央）

3 EROPA 会議に参加して

各国共通の行政課題をテーマとして、その研究に携わる人々が集う場にふさわしく、セミナーだけではなくコーヒーブレイクや食事の時間にも活発に意見交換が行われていことが印象的でした。国際会議に参加する意義は、共通課題に対して各国が持つ考えや視点、そしてノウハウを交換し成果を求めることだと考えます。参加者がこの会議で得た情報やノウハウをそれぞれの国に持ち帰り、行政と連携して直面する課題を解決しさらなる行政の質向上が図られることを期待するとともに、地方行政に携わる１人として積極的に彼らに協力していく必要があると改めて感じました。

来年 2016 年の EROPA 会議は事務総局が置かれているフィリピンで開催されます。そこではきっと今年以上に熱い議論が繰り広げられるでしょう。

（松田所長補佐　長崎県派遣）